

講師紹介

西村浩氏(株式会社ワークビジョンズ代表取締役)

日本大学、東北大学土木工学科非常勤講師 国土交通省東北地方整備局デザイン研修講師

日本建築学会賞 グッドデザイン賞大賞受賞

：JR 大分駅の高架化に伴う「大分都心南北軸整備事業」総括責任者として、駅前市道中央通り線の歩道空間の拡充による賑わい空間の創出に携わった。駅前の建築・アメニティなどへの木材利用が評判を呼んでいる。

伊東幸子氏(大分県土木建築部)

大分県出身

平成 4 年 熊本大学工学部建築学科卒業

同年 太陽工業(株)設計部入社

平成 10 年 大分県庁土木建築部入庁

一級建築士、建築基準適合判定資格者

施設整備課技術管理班主幹(総括)

；大分県施設整備課技術管理班主幹として、県立体育館の建替えに伴う県立屋内スポーツ施設整備事業プロジェクト(14,000m²、概算工事費 65 億円、H31 年 4 月竣工予定)を担当。同施設の日本最大級の屋根架構に県産材を活用する木造トラスに設計変更し、木材の調達、設計施工管理に従事。

井上正文氏(日本文理大学)

日本文理大学教授・大分大学名誉教授・大分県建築士会会長

工学博士・1級建築士

専門：木質構造学

研究テーマ：木材接合法の開発、木造住宅の耐震性向上、竹材の利用技術

：最近完成した大分大学の福利厚生施設学生交流会館の設計に携わった。「公共建築物等における木材の利用の推進に関する法律」に基づき、380m³の県産材を使用して地域振興への貢献を意識したコンセプトと木造デザインは学内外の評判を呼び、見学者が絶えない。

山崎真理子氏(名古屋大学)

名古屋大学大学院生命農学研究科准教授

：木材による環境設計を通じて環境の質的向上と循環型社会の構築に貢献するため、木材の力学特性、循環利用システムの構築などに関する研究・教育に従事。研究成果の社会還元のため都市の木質化プロジェクトに取り組んでいる。

小林道和氏(竹中工務店)

木造・木質建築推進本部 副部長

：国産木材を使った建築物の木造・木質化により日本の森林問題の解決を目指す木造・木質建築推進本部のメンバーで、マーケティングと技術開発を担当。建設分野において持続可能な木材利用の仕組みづくりに取り組んでいる。

河崎泰了氏(竹中工務店)

木造・木質建築推進本部 副部長

：主催建築設計の経験より開発営業、木造木質推進本部、スマートコミュニティ推進の業務にて、地域まちづくりなど多様な活動を踏まえ提案を行っている。環境配慮、先端技術で建築設計の視点から都心部の建物の木質化に取り組む。